



東っ子通信

E: 笑顔の自分を探そう
A: 安心安全な学校
S: 信じよう!! 自分の可能性
T: 互いを認め合い共に学び合う仲間たち

“T 互いを認め合い共に学び合う仲間たち”

共に楽しんだ歓迎遠足

4月28日(金)に、歓迎遠足で「干拓の里」に行きました。移動はバスやタクシーを利用しましたが、中学生のほとんどが学校から約3.5kmを歩き途中からバスに乗りました。良い天気です。暑さを心配しましたが、バスグループとの合流地点まで快調なペースで歩くことができました。



快調に歩く徒歩グループ

干拓の里に到着後は、児童生徒会主催の歓迎会を行いました。転入生紹介では、転入生による自己紹介とともに好きなことや得意なことに関する〇×クイズがあり、友達のことを知ることができました。また、歓迎のゲームでは、児童生徒会役員が考えた「森のくまさん鬼ごっこ」を全員で楽しみました。これからも行事や集会などでの児童生徒会役員の活躍が一層楽しみになりました。



逃げろ!! 鬼ごっこ

歓迎会の後は、干拓の里内を散策したり遊具で遊んだり、弁当を食べたりして過ごしました。

良い天気のもと、4月最後の日を笑顔で過ごすことができました。保護者の皆様、センター職員の皆様、ありがとうございました。



馬に触れたり、スケッチを楽しんだりする生徒

“E 笑顔の自分を探そう” “S 信じよう!! 自分の可能性”

子供たちが作り上げる運動会

ゴールデンウィーク終盤の5連休は、県内各地で雨が続きましたが、連休明けから晴天が続いています。校内では、5月28日(日)の療育運動会に向けて、準備や練習が始まりました。

赤白対抗戦の療育運動会では、応援合戦が一つの見所です。赤組、白組それぞれに応援の内容や役割分担を中学生が自分たちで考え、小学生を含めた各組全員に提案し、練習を行います。練習に向けて、中学生は、意見を出し合いながら、応援のシナリオを練っていきます。

応援のシナリオを作る授業を参観しました。書いたシナリオ(パソコンで入力して作成)を読みながら動きを確認したり、曲に合わせて応援する組は歌詞と曲を合わせて歌ったりするなど、それぞれに試行錯誤する様子が見られました。

考えたシナリオを読んで、「あれー、どうしよう?」「こうしてみようか」など、意見を交わし合いながら作り上げていく生徒たち。その様子をそばで見守る先生たち。生徒たちの思考や発想を聞いたり見たりしながら、いざというときに「こうしてみてもいいかな?」と助言できるように先生たちも思考を巡らせているようでした。

先生たちは子供たちを信じ任せて、子供たちは責任をもって最後までやってみる。先生たちは子供たちの取組のプロセスと結果をしっかりと見取る。成功もあれば、失敗もありますが、このような学びの積み重ねが、子供たちの自信と主体性を育むのだと考えます。保護者の皆様、センターの皆様。運動会当日を楽しみにお待ちください。



フレーフレー
東っ子!!

※東っ子通信はホームページでもご覧いただけます。

